

## 国際会計の研究 – グローバル人材としての会計専門職を養成する –

教授 山本昌弘

## 1. 研究内容

日本では、米国財務会計基準（FAS）が2002年に、国際会計基準（IFRS）が2009年にそれぞれ任意適用され、修正国際基準（JMIS）も適用されています。3会計基準は共通の「概念フレームワーク」に依拠して会計基準を構築しており、これをよく理解すれば、金融商品の時価評価、事業用固定資産の減損、企業結合、キャッシュフロー計算書などの会計問題について、そこから効率的に習得出来ます。3基準と日本の企業会計基準を相互に比較しながら学び、国際的に活躍出来る会計専門職を養成することが、本演習の主たる内容です。国際会計は、公認会計士や税理士、USCPAなどの資格取得のみならず、日本企業や外資系企業での会計実務にも役立つはずで、ゼミでは留学生の積極的受入れとともに、海外大学への長短留学送出し（ミネソタ、ヨーク、アルバータ、高麗、延世、香港中文、フィリピン、ウィーン等）も推進してきました。

## 2. ゼミの進め方

≪2年次≫

財務会計論及び管理会計論について学びます。欧米のMBAで教えた経験を基に参加型の講義、グループでのディスカッションやプレゼンテーション等、学生の能動的学習を引き出したいと思います。国際会計時代にはプロフェッションとしての公認会計士の活躍が不可欠なので、本演習では受験支援に力を入れています。各年次とも自主参加の合宿を行う年がありますが、基本は試験（日商簿記や公認会計士）の直後に慰労を兼ねて懇親会を行ってきました。またOB・OG公認会計士によるレクチャーも実施しています。

≪3年次≫

国際会計論のテキストを基にパワーポイントを使って3基準を常に比較しながら報告してもらい、全員で討論を行います。また会計データベースのパソコン実習も行っています。春秋学期ともに企業を知るために工場見学（終了後コンパ）を実施してきました。この年に、公認会計士に受かるゼミ生が増えています。

≪4年次≫

春学期は、会計不正問題についてグループで報告してもらいます。秋学期は、卒業レポート（卒業論文の短いもの）の作成指導を行います。秋に工場見学を実施します。進路に応じた学生支援を行います。

## 3. 教材

3年生は秋葉賢一『エッセンシャルIFRS』（中央経済社）を使用。なお山本昌弘による著書として、『国際会計・財務論』『国際会計論』『多元的評価と国際会計の理論』『国際戦略会計』『戦略的投資決定の経営学』（文真堂）、『国際会計の教室』『キャリアアップの投資術』（PHP新書）、『会計制度の経済学』（日本評論社）、『会計とは何か』『株とは何か』（講談社）、『実証会計学で考える企業価値と株価』（東洋経済新報社）、『事業継承ガイドラインの読み方』（経済法令研究会）等があります。

## 4. 成績評価の方法

授業中におけるゼミ運営への貢献度（参加態度、報告、発言、資格取得等）を元に評価します。

## 5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

## 6. その他・志願者へのメッセージなど

以前から経理研究所長を務めており、教員として公認会計士養成に積極的に携わっています。経理研では、伝統的な公認会計士受験の基礎講座に加えて、近年は合格者の就職支援や海外での会計研修等も行っています。演習（大学院を含む）と一体になって資格試験を目指す学生をバックアップし、グローバルに活躍できる会計専門職を一人でも多く輩出したいと考えています。

URL <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~myam>